



## 夏休期間中の府内高校生への附属図書館開放について ～自学自習や閲覧で利用できます～

2025年7月18日  
京都府立医科大学

京都府立医科大学附属図書館では、「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として、夏休期間中を活用し、府内高校生への附属図書館開放を行うこととしておりますので、お知らせいたします。

### 【今回のポイント】

- 本学附属図書館内に、2025年4月、教育研究交流施設「ラーニングコモンズ」が完成。この施設は、学生同士の協働学習やICTを活用した学修支援を促進する空間として設計されており、静かな学びにとどまらない、主体的・対話的な学習の拠点となることを目的としています。
- 高校と大学の教育的接続を深める「**高大連携**」推進の一環として、**夏休期間中に京都府内の高校生を対象に附属図書館を開放**。大学の学修環境を体験することにより、高校生が学問への関心を深め、進路選択や将来設計の一助となることを目指しています。
- 地域との交流・貢献を重視し、**今年6月、京都女子高校の生徒に特別授業を行うなど「地域に開かれた附属図書館」の実現に向けた先導的取り組み**として位置づけています。
- 大学進学や探究活動に関心のある高校生に対し、自学自習、協働学習、大学レベルの学習資源へのアクセスを提供いたします。



### 【取組の背景】

- クラウドファンディングに挑戦し、**新施設「ラーニングコモンズ Koto Square」**も好評で利用されており、**生まれ変わる広小路キャンパスを広くアピール**することを目指しております。



### 【今後の展望】

- 今回の取り組みを契機に、今後さらに**高大連携**を深化させ、高校生向け特別授業の実施や地域教育機関との連携による教育資源の共有化等、**継続的に展開**していく予定です。

## 1 実施概要

- (1)対象者：京都府内の高等学校に在籍する生徒及び府内在住の高校生
- (2)開放期間：2025年7月20日（日）～8月31日（日）夏休期間  
(利用時間)平日 9:00～21:00・土日 10:00～18:00 ※祝日を除く
- (3)開放エリア：ラーニングコモンズを含む本学附属図書館
- (4)利用方法：申込不要。期間中、京都府内の高校生であれば自由に来館・利用が可能です。
- (5)利用目的例：自学自習  
探究活動・課題研究のための文献調査  
グループでのディスカッションやプレゼンテーション準備  
大学進学準備としての学術資料閲覧

参 考

〈京都府立医科大学広小路キャンパス活性化プロジェクト〉

プロジェクトの概要	優秀な医師、看護師、研究者を育成するなど附属図書館、看護学学舎がある広小路キャンパスの活性化を図る取り組み
活動期間	2023年7月～2026年3月（予定）

■プロジェクトこれまでの主な取組

●2025年4月、新しい教育研究交流施設としてラーニングcommons「Koto Square」をオープン。図書館ホールと連携して、学生、研究者等が活用中。	
●2023年8月、電動キックボード等シェアリングサービスの常設ボード（10台）を設置。京都府内の大学初の取組です。	
●学生証ICカード化による図書館利用証の統合。2024年5月から大学構成員は、図書館利用申し込みなく利用が可能になりました。	
●キッチンカーの導入。患者、学生等のアメニティー向上を図り2023年12月から広小路、河原町ともに配置。学生には割引制度で提供。	
●学生等の憩い、学習できるスペースの創出として、2023年10月に屋外にテーブル・ベンチを配置。キッチンカーの食事にも学生等が利用中。	
●看護学学舎地階学生ホールのアメニティー向上として、壁塗り替え等を2024年3月に実施、ハイカウンター席及びビッグテーブルを新設。休み時間には学生で満員で好評。	
●プロジェクト専用ホームページ「京都広小路通信」( <a href="https://hirokojipj.kpu-m.ac.jp/">https://hirokojipj.kpu-m.ac.jp/</a> )を2024年3月に新設。様々な人にインタビューし、X、Facebook等SNSで発信。	

取材に関する問合せ先  
 京都府立医科大学附属図書館  
 電話 075-212-5400 FAX 075-212-5405  
 E-mail library@koto.kpu-m.ac.jp